

ていんさぐぬ花

本調子

中 中王尺中上 四 合老四 工 中 中王尺中上

四 合老四 工 中 中王尺中上 四 合老四 工

中 中王六 八 七 合 六 七 中 中王尺中上

四 合老四 工

一、(一)

ていんさぐぬ花や

爪先(ちみさち)に染(す)みてい

親(うや)ぬゆし事(ぐとう)や

肝(ちむ)に染(す)みり

二、天(ていん)ぬ群星(むりぶし)や

読(ゆ)みば読(ゆ)まりゆい

親(うや)ぬゆし事(ぐとう)や

読(ゆ)みやならん

三、夜(ゆる)走(は)らす舟(ふに)

や

子(に)ぬ方星(ふあぶし)見当(

みあ)てい

我(わ)ん生(な)ちえる親(うや

ー)や

我(わ)んどう見当(みあ)てい

四、宝玉(たからだま)やていん

磨かにば錆す

朝夕(あさゆ)肝(ちむ)磨ち

浮世(うちゆ)渡ら

五、誠(まくとう)する人(ひとつ)や

後(あとう)や何時(いち)迄(ま

でい)ん

思事(うむくとう)ん叶(かな)て

い

千代(ちゆ)ぬ栄(さか)い

六、なしば何事(なんぐとう)ん

なゆる事(くとう)やしが

なさぬ故(ゆい)からどう

ならぬ定(さだ)み